

題 材 名	幼児 の生活と家族について		
内容・項目	Aの(3)		
指導時間	12時間		
題材のねらい (展開の特徴)	自分の小さい頃の様子を振り返ったり、幼児の観察やおもちゃの製作などの実践的・体験的な学習活動をしったりすることを通して、日常生活の中で知識が少ない幼児への興味関心を高めさせ、人間の成長や生命の神秘について考えるきっかけづくりをする。また、家族や周囲の人への感謝の気持ちをもち、生命尊重への意識を高め、地域の一人として今後自分にできることを考えられるようにしたい。		
学習の流れ (展開の工夫)	時 間	指導項目	主な指導内容
	1	オリエンテーション (幼児とは) 小さいころのエピソードの発表。 ・生まれたとき ・幼稚園 ・小学校入学のころ	・母子手帳を見たり、家族に小さいときの様子を聞いてワークシートに記入する。(家庭的に事情のある生徒へ配慮する) ・自分史を作り自分の成長や自分と家族とのかかわりについて知る。 ・幼い頃の好きな食べ物やおもちゃなどで思い出す。 ・「聞き取り調査」をもとに家族にあたたかく身守られて生まれたことを気づかせ感謝の心をもつ。 <b>【学ぶエネルギー】</b>
	2	幼児の一日の生活についての調べ学習	・乳児・幼児(3・5才)中学生の一日の生活時間調べをもとに睡眠・食事・遊びの回数の変化(色分け)などから、生活時間の変化や、幼児の一日は、遊びが中心で、生活するうえで大切な学習であることを理解する。 ・VTRを視聴し、幼児の一日の生活を具体的に理解する。
	3	幼児の遊びの種類や役割、遊びの中で育つ力。 ・遊びは豊かな人間形成のもとになる	・どんな遊びをしていたか、遊びからどのような力が育つのか等幼児の生活をより豊かにする遊びを知る。 ・昔の遊びと今の遊びの長所・短所について話し合いをし、幼児の遊びを豊かにするおもちゃや遊ぶ場所などを考える。 <b>【かかわり】</b>
	4～7	幼児のおもちゃの製作 作品の構想 材料の選択 おもちゃの製作	・グループ毎に、製作する年齢に合ったおもちゃの話し合い ・身近にある素材を利用した製作計画 的確で能率的な製作と手順 ・幼児の発達を考えたおもちゃ作りをする。 <b>【意思決定能力】</b>
	8	幼児の心身の発達	・赤ちゃん人形の抱っこ体験(出生児の身長や体重の実感) ・VTRを視聴し、年齢ごとの成長の変化をまとめる。 <b>【かかわり】</b>
	9～11	・乳幼児と家族へインタビュー (保育実習) ・インタビュー内容 ・観察のまとめ	・幼児とのふれあいを通して、行動や心の状態を観察する。(遊び・生活習慣・心の発達・かかわり方の工夫など)幼児の発達過程について知る。 インタビューする人に失礼のない言葉遣いをさせる。(保育実習の時は製作したおもちゃを持参) ・言語活動としてインタビューし、知っていることと体験をつなげて、新たにわかったことを学んだことをわかりやすくまとめる。 <b>【意思決定能力】【かかわり】</b>
	12	子どもにとっての家族	・グループで幼児を取り巻く模擬家族のロールプレイングをする。(場面設定・役割分担・シナリオ等) ・発表を通して言語活動の充実を図る。 <b>【学ぶエネルギー】【意思決定能力】【かかわり】</b>
準備・材料等	小さいころのエピソード聞き取り調査・自分史 心身の発達ワークシート VTR「幼児の生活・心身の発達」 おもちゃの見本(市販 手作り) 材料は各自用意(紙類・布類・プラスチック類・その他) 保護者・保育園への依頼文書 ロールプレイングのシナリオ		